



令和4年(2022年)第26週 2022年6月27日(月)~2022年7月3日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## ●手足口病について

手足口病が少し増えてきました。口の中や手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。感染症発生動向調査によると、例年、報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めています。

### ◆どんな病気？

手足口病は、コクサッキーウイルスA16 (CA16)、CA6、エンテロウイルス71 (EV71) などのウイルスが原因となります。基本的に予後が良好ですが、時に急性髄膜炎、まれに急性脳炎を生ずることもあり、なかでもEV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いといわれています。また、CA6では、手足口病発症後、数週間後に爪脱落が起こる症例(爪甲脱落症)が報告されています。手足口病を発病すると、その原因ウイルスに対しての免疫が成立しますが、他のウイルスによる手足口病にはかかる可能性があります。

・**症状**……口の中、手のひら、指、足の裏などに2~3mmほどの水疱性発疹が出ます。発熱は約1/3にみられますが、38℃以下のことがほとんどです。通常は3~7日で治る病気です。しかし、まれに中枢神経系の合併症、心筋炎、肺水腫、急性弛緩性麻痺などがみられることがあり、手足口病の典型的な症状がなく重症になることもあるので、注意が必要です。子どもが手足口病にかかった時には注意深く経過観察し、合併症に注意する必要があります。

・**潜伏期間**……3~5日程度

・**感染経路**……飛沫感染、接触感染、糞口感染。感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても無症状で、ウイルスを排泄している場合があります。

・**流行期**……夏(7月下旬ごろ)にピークを迎えますが、秋から冬にかけても少し発生がみられます。

### ◆かかったらどうすればいいの？

・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎などの合併症がみられることがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上発熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

### ◆予防法は？

・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染している子どものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。タオルの共用も避けましょう。



期 間		2022年 25週		2022年 26週	
		6/20~6/26		6/27~7/3(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)		8	0.50	9	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	0.25	0	0.00
感染性胃腸炎		90	5.63	96	6.00
水痘(みずぼうそう)		4	0.25	0	0.00
手足口病		3	0.19	9	0.56
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	1	0.06
突発性発しん		13	0.81	9	0.56
ヘルパンギーナ		1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		3	0.60	3	0.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00